

「インテックス大阪」における大規模臨時医療センターについて

インテックス大阪に「大阪コロナ大規模医療センター・療養センター（仮称）」が設置される事を受け、9月24日、大阪府、大阪市、インテックス大阪による展示会主催者向けの説明会が開催されました。

インテックス大阪6号館以外のエリアにつきましては、展示会場として安全に利用できることが確認できましたので、その内容を報告いたします。

なお、同センターは9月30日の開設を予定しておりますが、大阪府からは、「現在のホテル療養の病床数などが満杯になるような状況でなければ、患者の受け入れを開始しないという」趣旨の説明がありましたので、このままの感染状況が続いた場合、建設技術展2021近畿の会期中は患者の受け入れを開始していない公算が極めて高いことを合わせて報告いたします。

<確認事項>

- インテックス大阪の1号館から5号館は、展示会場として通常通り使用できます。（大阪府の医療アドバイザーである大阪大学医学部忽那教授から周辺の皆様への影響がないと明言されています）
- 6号館の臨時医療施設は、完全に別施設として展示会場とは高さ3m壁を立てて遮ります。
- 展示会エリアと臨時医療施設エリアは、一切導線が交わらないように運営し、施設の出入り口ほかに警備員を配置、患者の施設外への立ち入りを防ぎます。
- 患者は自家用車または専用業者が運転するタクシーにより直接施設に入場するため、公共交通機関を使用または徒歩での入場はありません。
- 大阪府の軽症中等症病床数は9月26日現在、2772床中、現在の使用率38.5%、宿泊療養施設は8408床中、使用率11.4%であり、臨時医療施設の患者受け入れはそれらが満杯になるような状況にならない限り、使用されません。現在の見通しでは、建設技術展2021近畿の会期中に受け入れを開始することは極めて低い状況にあります。

以上のことから、会場であるインテックス大阪4号館は安全に使用できると判断いたしました。

風評被害に惑わされる事の無いよう、引き続き、皆様のご支援ご協力をお願い申し上げます。